



2016年3月期 第2四半期 決算説明会

ケンコーマヨネーズ株式会社

2015年 11月 19日



①. 2016年3月期 第2四半期 決算の概況

②. 中期経営計画

「KENKO Five Code 2015-2017」

～輝く未来のために～

③. 2016年3月期 業績予想

①. 2016年3月期 第2四半期 決算の概況

取締役 常務執行役員 財務経理本部長
村田 隆

1. 2016年3月期 第2四半期 食品業界動向

2016年3月期第2四半期 決算の概況



外食産業

- ・ 市場全体の売上はほぼ横ばい
- ・ ファストフード市場では、大手企業のマイナスの影響もある反面、麺類や寿司、焼き肉など好調な業態も多い
- ・ ファミリーレストラン市場は、高価格メニューが好調、食べ放題サービスも人気
- ・ 人材獲得競争の激化や足元の円安進行を受け原材料価格のコスト増が懸念

スーパーマーケット

- ・ 食品スーパーの売上は好調
- ・ 総菜売り場は前年を上回る売上高となり、堅調に推移
- ・ 弁当・総菜は、コンビニエンスストアと比較し、安価で多種類、品揃えも豊富なため、主婦・OL・高齢者・単身者など幅広いターゲット層の需要を獲得

コンビニエンスストア (CVS)

- ・ 新規店舗出店の伸びもありつつ、既存店舗の売上高や平均客単価は、2015年4月から6か月連続で前年を上回る結果となった
- ・ 淹れたてコーヒーを含むカウンター商材や弁当・総菜等の中食が好調に推移

2. 2016年3月期 第2四半期 決算の概況（連結）

2016年3月期第2四半期 決算の概況



分野別・業態別対策の取り組みにより増収

売上高 332億44百万円（前年同期比：+10.5%、予想比：+4.2%）

- 商材別（サラダ類、マヨネーズ・ドレッシング類、タマゴ類）ではいずれの商材も堅実に伸長
- 小型形態のロングライフサラダの採用が加速

売上高アップや生産効率の向上により増益

経常利益 17億93百万円（前年同期比：+41.2%、予想比：+3.7%）

- 静岡富士山工場の操業度アップによる効果
- 連結子会社のフレッシュ総菜が順調に売上を伸ばし利益増に寄与

上半期の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益
いずれも過去最高を更新

3. 2016年3月期 第2四半期 業績（連結）

2016年3月期第2四半期 決算の概況



単位：百万円

● 損益計算書の概要

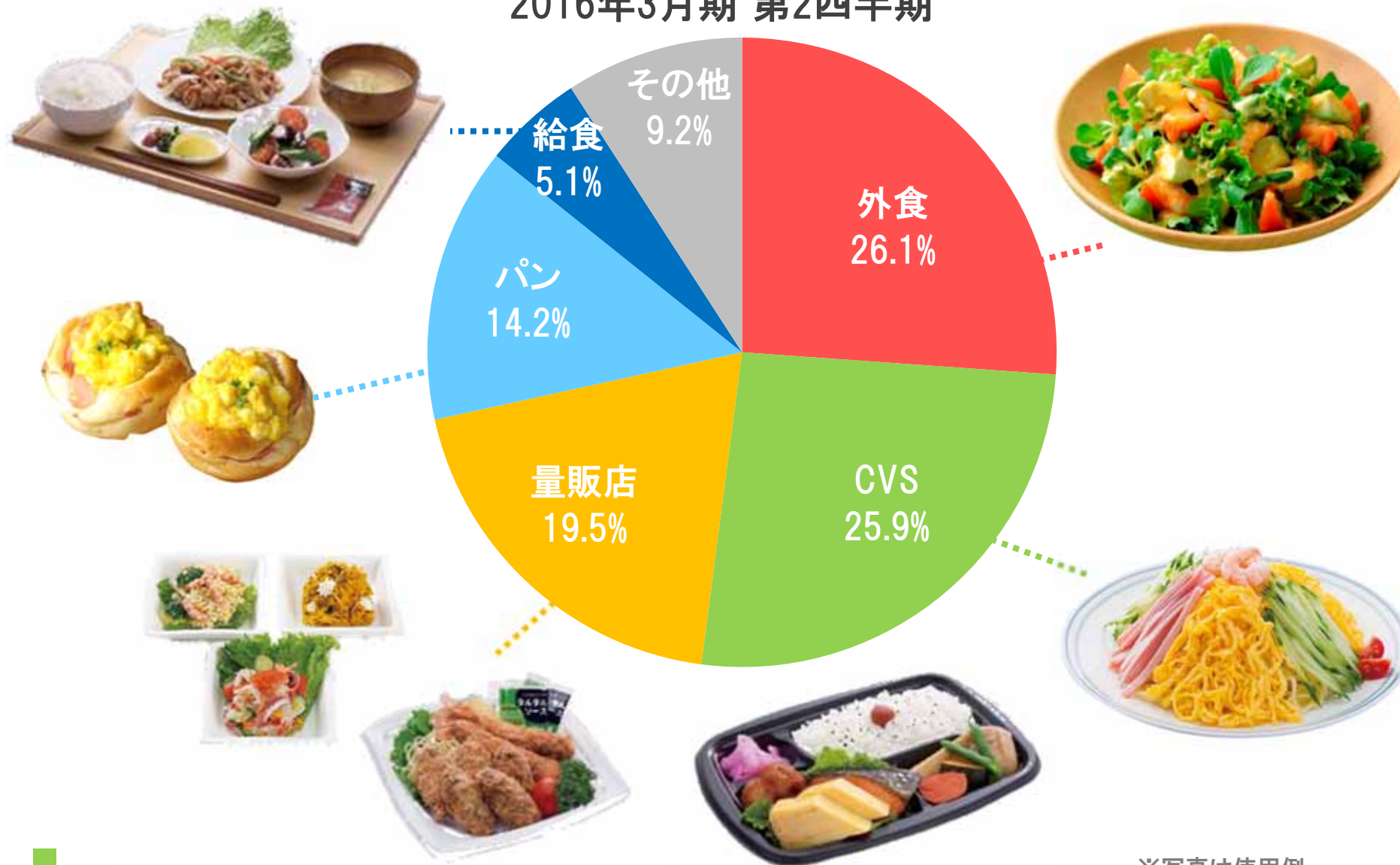
	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期			2016年3月期 第2四半期予想 (2015/5/11発表)
	金額	金額	前期比	予想比	金額
売上高	30,091	33,244	10.5%	4.2%	31,900
売上総利益	7,728	8,596	11.2%	—	—
%	25.7%	25.9%			
販売管理費	6,334	6,770	6.9%	—	—
営業利益	1,394	1,826	31.0%	2.0%	1,790
%	4.6%	5.5%			5.6%
経常利益	1,270	1,793	41.2%	3.7%	1,730
%	4.2%	5.4%			5.4%
税金等調整前四半期純利益	1,302	1,976	51.8%	—	—
四半期純利益	736	1,522	106.7%	49.2%	1,020
%	2.4%	4.6%			3.2%
1株当たり四半期純利益	51円84銭	107円12銭			71円78銭

4. 分野別売上高構成比（連結）

2016年3月期第2四半期 決算の概況



2016年3月期 第2四半期

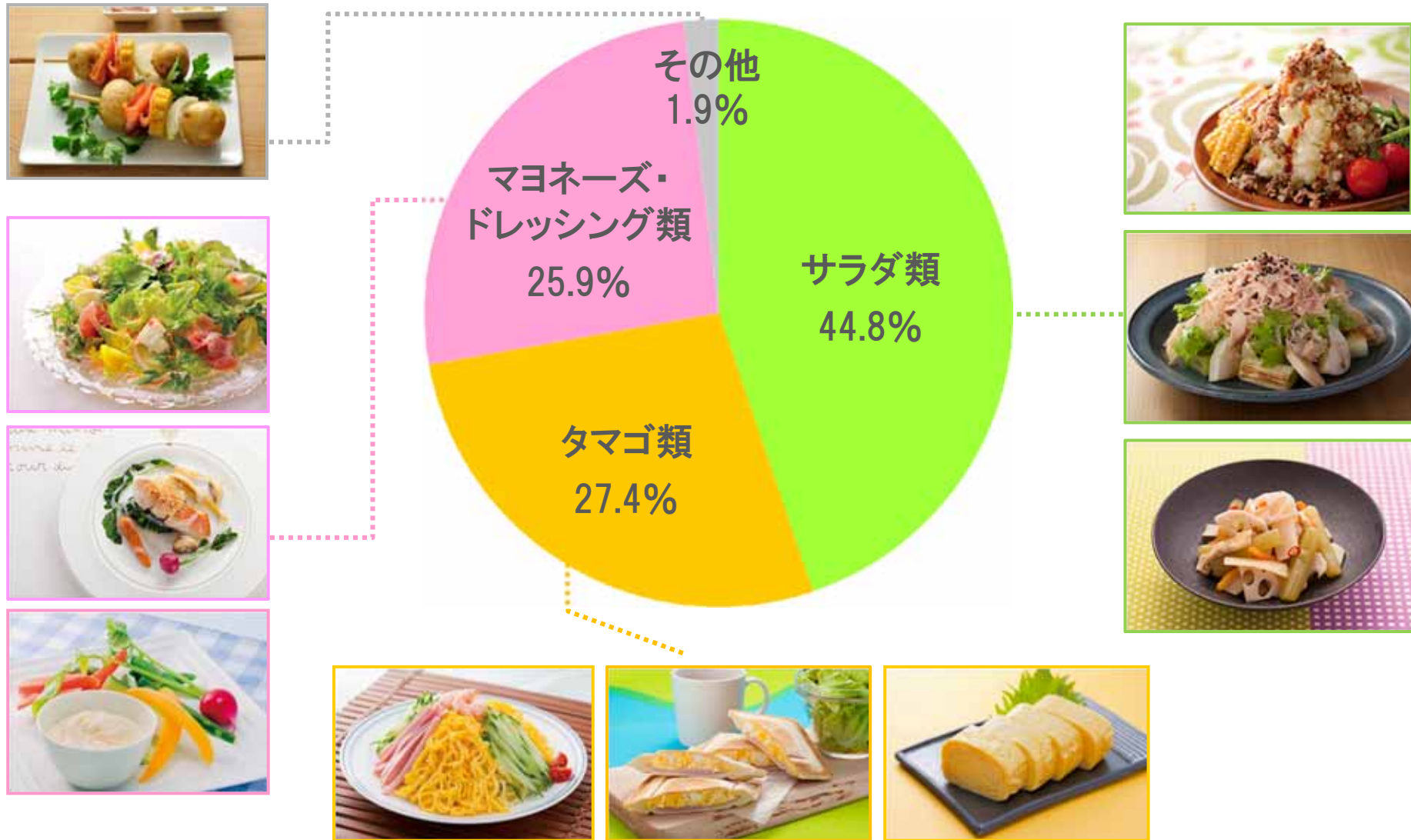


5. 商材別売上高構成比（連結）



2016年3月期第2四半期 決算の概況

2016年3月期 第2四半期

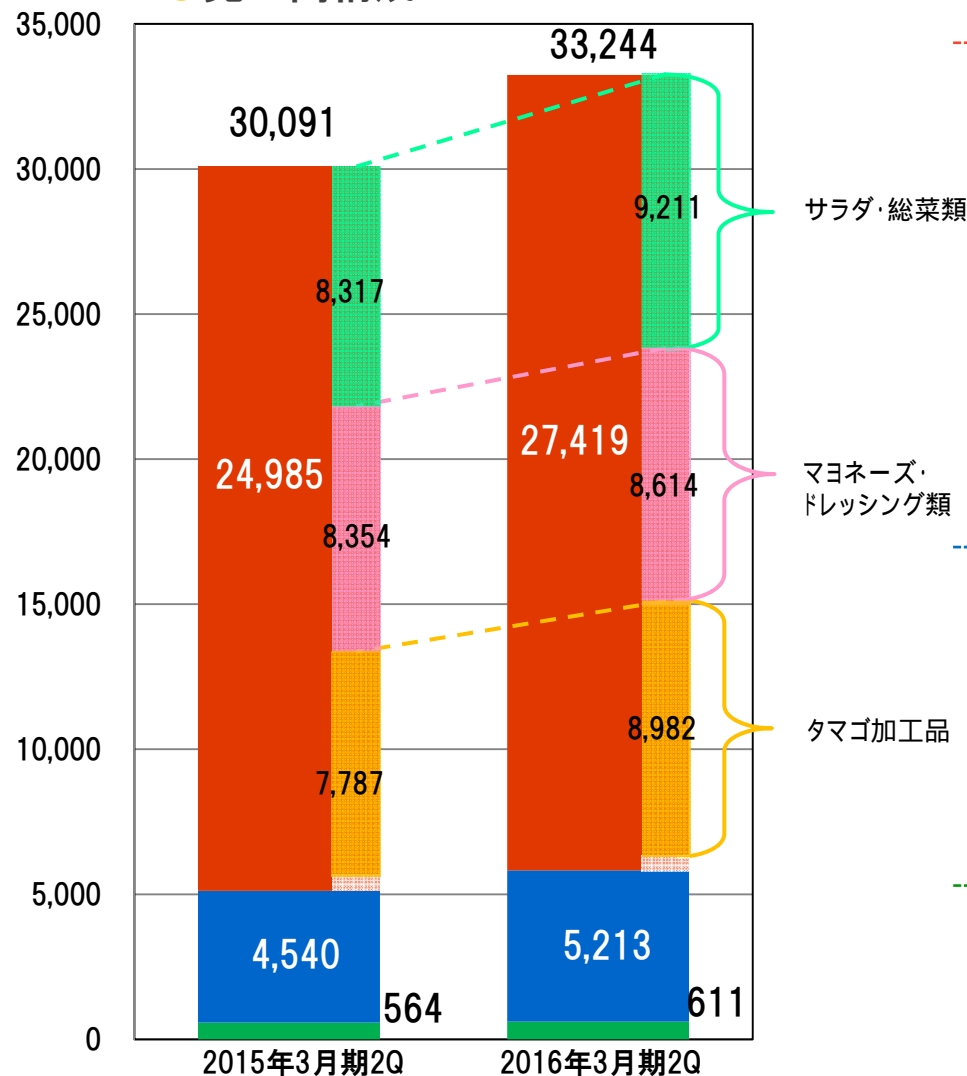


6. 事業別売上高概況（連結）

2016年3月期第2四半期 決算の概況



単位：百万円 ● 売上高構成



■ 調味料・加工食品事業（前期比+9.7%）

< サラダ・総菜類、マヨネーズ・ドレッシング類、タマゴ加工品 >

- 販売重量：前年比増（前期比+8.8%）
- 販売単価：前年比増（前期比+0.8%）

● 商材別前期比	売上高	販売重量
サラダ・総菜類	+10.7%	+7.9%
マヨネーズ・ドレッシング類	+3.1%	+6.4%
タマゴ加工品	+15.3%	+13.1%

■ 総菜関連事業等（前期比+14.8%）

< フレッシュ総菜(日配サラダ、惣菜)、グループ内生産受託 >

- 量販店向けにポテトサラダ・マカロニサラダ、明太子やかぼちゃを使用したサラダ等が伸長
- 北海道エリア限定のカット野菜が堅調に推移

■ その他（前期比+8.3%）

< ショップ事業(Salad Cafe)および海外事業※ >

- 店舗：4月「Salad Cafe ルミネ立川店」オープン
- 料理講習会：「サラダカフェ サラダ料理講習会」大阪での開催をスタート

■ 調味料・加工食品事業 ■ 総菜関連事業等 ■ その他

7. 事業別売上高・セグメント利益（連結）

2016年3月期第2四半期 決算の概況



● 事業別売上高・セグメント利益

単位：百万円

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	前期比	
			増減	%
売上高	30,091	33,244	3,153	10.5%
調味料・加工食品事業	24,985	27,419	2,434	9.7%
総菜関連事業等	4,540	5,213	672	14.8%
その他	564	611	46	8.3%
セグメント利益	1,270	1,793	523	41.2%
調味料・加工食品事業	1,244	1,527	282	22.7%
総菜関連事業等	149	337	187	125.6%
その他	△134	△66	68	—
調整額	10	△4	△15	—

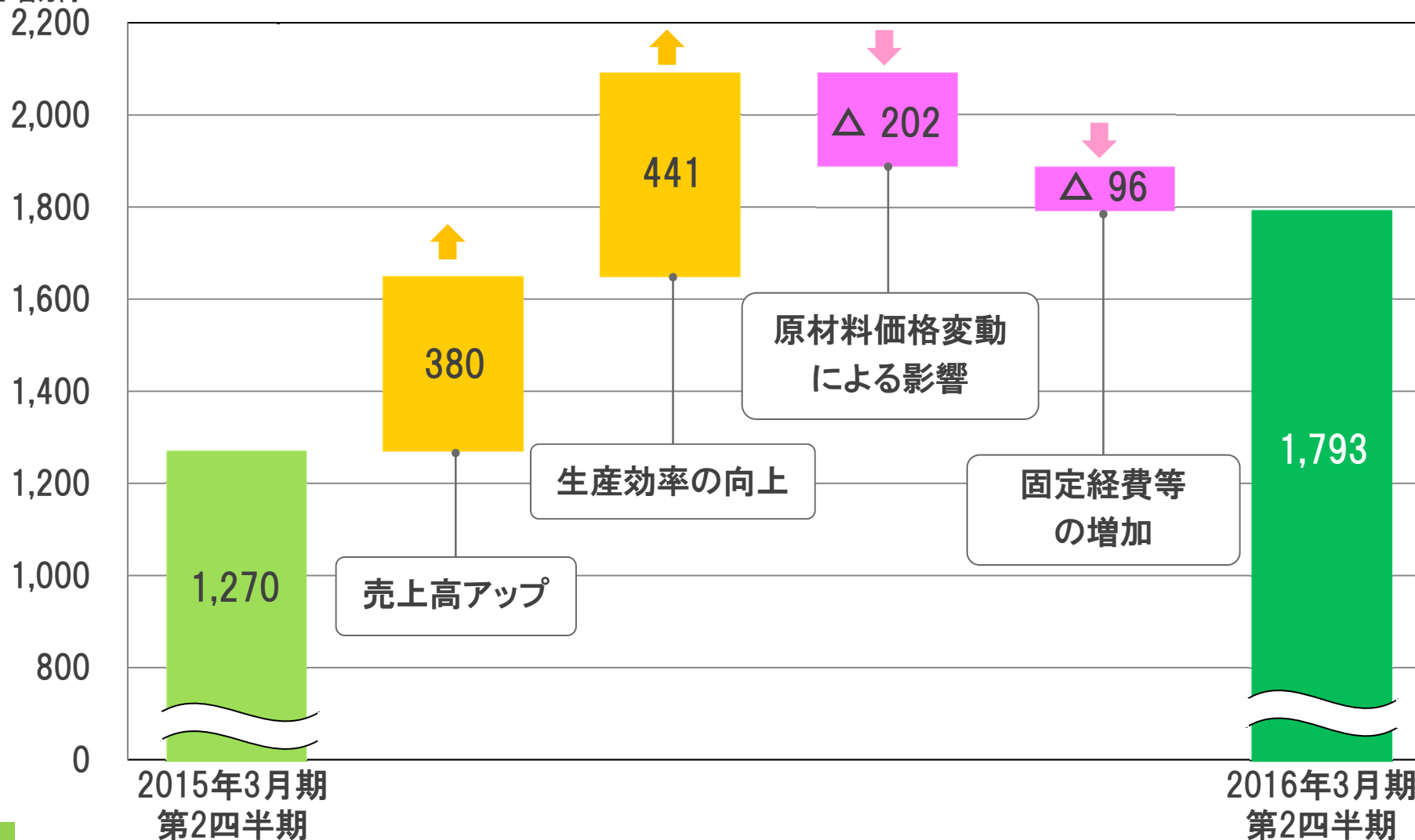
8. 経常利益増減要因（連結）



2016年3月期第2四半期 決算の概況

● 経常利益増減要因

単位：百万円



9. 貸借対照表の概要（連結）

2016年3月期第2四半期 決算の概況



単位：百万円

● 財政状況

* 長期未払金を含む

		2015年3月期	2016年3月期 第2四半期	増 減	前年度末比
資 産	流動資産	18,704	20,449	1,744	9.3%
	固定資産	20,744	19,836	△907	△4.4%
資産合計		39,448	40,286	837	2.1%
負 債	うち有利子負債残高 *	8,584	7,558	△1,026	△12.0%
		21,481	21,206	△274	△1.3%
純資産		17,967	19,080	1,112	6.2%
負債・純資産合計		39,448	40,286	837	2.1%
1株当たり純資産		1,264円38銭	1,342円66銭	78円28銭	6.2%
自己資本比率		45.5%	47.4%	1.9%	—

- 純資産は、内部留保の蓄積等により1,112百万円増加、自己資本比率も+1.9%の47.4%となった
- 有利子負債は、1,026百万円減と着実に返済が進む

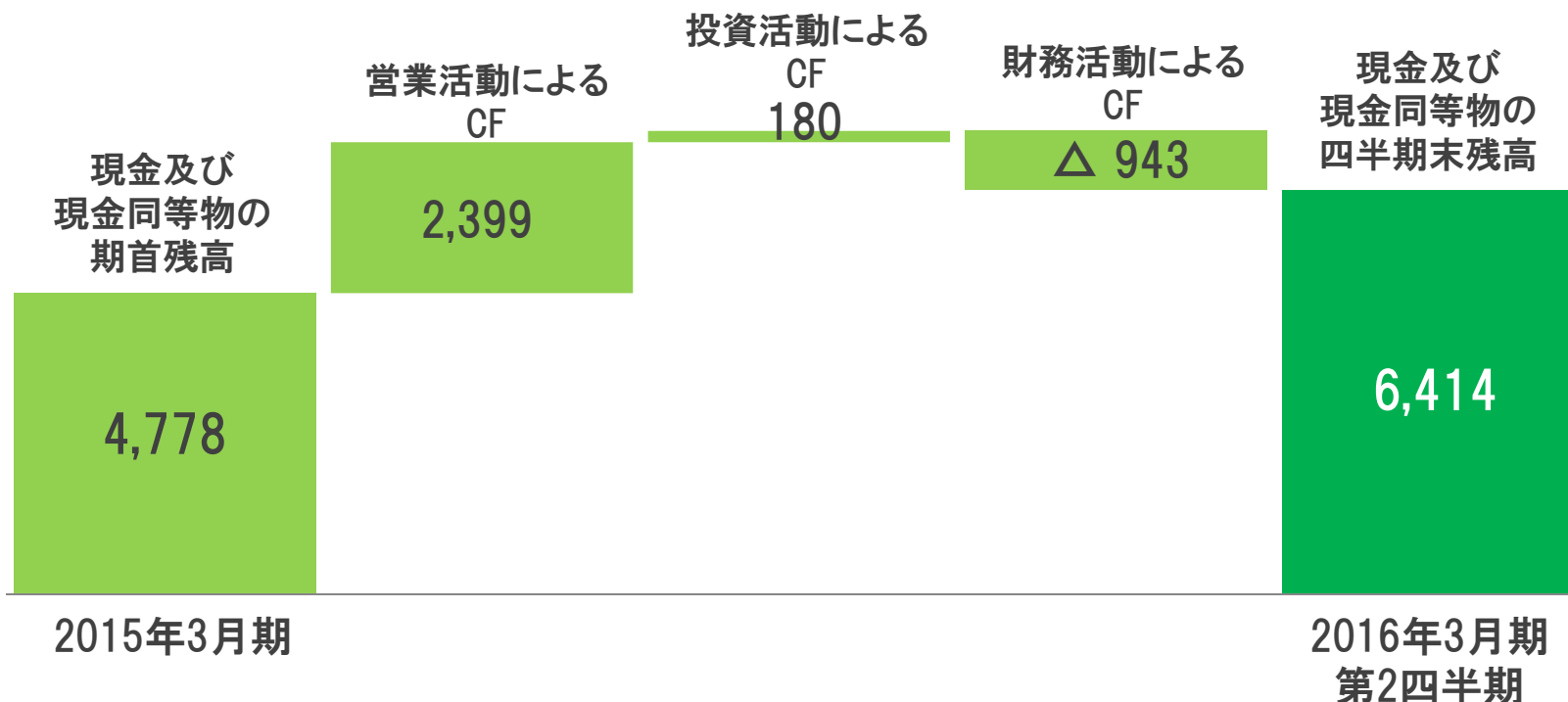
10. キャッシュフローの概要（連結）



2016年3月期第2四半期 決算の概況

● キャッシュフローの状況

単位：百万円



- 営業CF：収益力アップおよび償却費増等により増加
 - 投資CF：中国事業株式譲渡による537百万円の収入
 - 財務CF：有利子負債の返済によるもの
- ⇒ 現預金残高は6,414百万円まで増加（今後の成長資金の一部に充当）

②. 「KENKO Five Code 2015-2017」 ～輝く未来のために～

代表取締役社長 炭井 孝志

1. 「KENKO Five Code 2015-2017」 《5つの指針》

.KENKO Five Code 2015-2017



2. 「KENKO Five Code 2015-2017」 《経営戦略》

.KENKO Five Code 2015-2017



中期経営計画 2015年度～2017年度

『KENKO Five Code 2015-2017』

Globalization
世界的拡大

Innovation
革新

Best practice
最良実施

Knowledge
management
知識管理

Communication
コミュニケーション
(ブランド育成)

1 『サラダNo.1 (Leading company)』のポジションを確立

2 「サラダ料理」の更なる進化

3 グローバル市場への積極展開を進める経営基盤強化

3. 「KENKO Five Code 2015-2017」 《目標》

.KENKO Five Code 2015-2017



中期経営計画 2015年度～2017年度
『KENKO Five Code 2015-2017』
2017年度 目標

1

連結売上高 750億円
連結経常利益率 5%

2

自己資本比率 50%

3

ROE 8%以上をキープ

4. 『サラダNo.1 (Leading company)』のポジションを確立①

.KENKO Five Code 2015-2017



マヨネーズ・ドレッシング事業

● 2Q実績

- ・世界のソースシリーズ2品追加 (全20品※)
- ・製パン向けにマヨネーズが新規採用



● 2017年度に向けて

- ・原料産地や機能性にこだわった商品の充実
- ・海外輸出用に賞味期間延長・使用原料調査

TOPICS 新ブランド登場

世界を旅するドレッシング™ (略称:旅ドレ™)

世界各国で親しまれている
その土地ならではのおいしさをお届けする新シリーズ



● 生産拠点増強計画

《ドレッシングライン》

- ・味や品質の向上
- ・賞味期間延長
- ・容器変更
- ・フレキシブルな形態対応 (マルチ充填)

サラダ・総菜事業

● 2Q実績

- ・「和彩万菜®」シリーズ2品追加 (全5品)
- ・素材を活かした商品が、外食、CVS、製パン向けに新規採用



● 2017年度に向けて

- ・商品シリーズ(世界のサラダ、和彩万菜®)強化
- ・やわらか食、小型形態への対応

TOPICS ソーセージ型ポテトサラダの発売

ベジソー™

ワン手で手軽にサラダが食べられる、ソーセージ型のポテトサラダを開発



● 生産拠点増強計画

《ロングライフサラダライン》

- ・小型形態への対応
- ・多品種生産への対応

4. 『サラダNo.1 (Leading company)』のポジションを確立②

.KENKO Five Code 2015-2017



ポテト事業

- 2Q実績
 - ・外食、CVS向けにポテトサラダが伸長
 - ・素材系ポテトが好調に推移
 - ・東京海洋大学 サラダサイエンス寄附講座「サラダシンポジウム」の開催



- 2017年度に向けて
 - ・ニーズにあった商品開発(素材系、「北海道」ブランド)
 - ・メニュー提案の強化

TOPICS Neo ポテト World

当社オリジナルポテトサラダ料理のご提案

当社グループ総合フェアにて、世界のポテト料理や日本の定番料理をじゃがいもで表現、新感覚なNEOスタイルのポテト料理も提案



じゃがいもを使用したモンブラン

- 生産拠点増強計画
 - 《ロングライフポテトサラダライン》
 - ・既存サイズから小型形態まであらゆるサイズへの対応

たまご事業

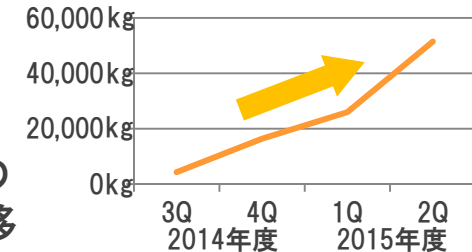
- 2Q実績
 - ・「惣菜亭®」シリーズ5品追加(全10品)
 - ・CVS・回転寿司向け厚焼き卵、だし巻卵が伸長



- 2017年度に向けて
 - ・「惣菜亭®」シリーズ拡充
 - ・ニーズに合った商品開発

TOPICS 「惣菜亭®」シリーズ販売実績

味・品質への高評価
静岡富士山工場製
卵焼き「惣菜亭®」
シリーズの味・品質への
評価が高く、好調に推移



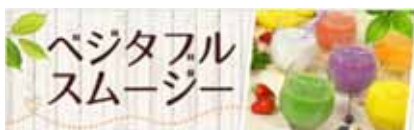
- 生産拠点増強計画
 - 《静岡富士山工場生産能力UP》
 - ・卵焼きラインの増強
 - ・冷凍設備の増強
 - ・スクランブルラインの増強

5. 「サラダ料理」の更なる進化①



. KENKO Five Code 2015-2017


Web 業態別や季節のレシピ、トレンド情報発信



レシピ掲載数:
約1,080レシピ
(2015年9月末)



フルコースを
サラダ料理で表現
▶ 可能性の拡大

- ✓ 2015年5月～公式Twitterスタート
- 
 ケンコーマヨネーズ : @kenko_mayo
 Salad Cafe : @Salad_Cafe_plus

Salad Cafe ショップ展開

2015年4月
『Salad Cafe ルミネ立川店』OPEN
(計17店舗)

2015年11月25日～12月25日
高島屋日本橋店に『Salad Cafe』期間限定出店

Communication グループ間コミュニケーション

- 2015年1月 当社&サラダカフェWebサイトにて
ジャーサラダレシピを発信
- 2015年5月 ジャーサラダを
Salad Cafe店舗にて商品化



5. 「サラダ料理」の更なる進化②

.KENKO Five Code 2015-2017



メディア:情報発信

メニュー提案力の発信

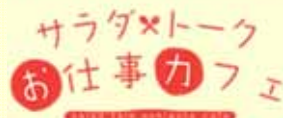
● ラジオ

2013年10月 放送開始

「サラダトーク～お仕事カフェ～」

放送100回を突破 (2015年9月27日)

ゲスト様提案サラダ料理: 49メニューご紹介



● テレビ

2015年7月

BS12 TwellV「未来展望 ～トップリーダーの集い」

▶ ロングライフサラダの紹介

2015年8月

テレビ東京「L4You! Plus」

▶ 当社製品を使用したアレンジメニューの紹介



サラダ料理講習会

一般の方との交流・ファンづくり



- ✓ ケンちゃんのサラダ料理教室
- ✓ サラダカフェ サラダ料理講習会

→ 計7回実施 (2015年4～9月)

ケンコーマヨネーズグループの「メニュー提案力」を発信

⇒ ブランド力の強化

6. グローバル市場への積極展開を進める経営基盤強化①

.KENKO Five Code 2015-2017



● 情報収集拠点

2015年7月

カナダ バンクーバーにリサーチオフィスを設置 (Vancouver Research Office)

・北米の食文化・トレンド
・食の考え方
ビーガン(超菜食主義者)
・調理法
マクロビオテック
・食材
グルテンフリー

トレンドをいち早く
キャッチ

市場演出型企业として
新しい食文化情報をお客様へご提案

● ハラル認証商品

2015年11月

ハラール認証を取得し、インドネシアで製造している冷凍食品の輸入開始



+



ハラール認証取得
インドネシア工場製マヨネーズタイプ
「おマヨ」と併せて拡販を狙う

冷凍フィッシュパティ 冷凍サカナフライ

6. グローバル市場への積極展開を進める経営基盤強化②

.KENKO Five Code 2015-2017



● 輸出事業

33の国と地域への輸出を実施（2015年9月現在）

ヨーロッパ(9か国)

- ・イギリス
- ・オーストリア
- ・ロシア
- ・フランス
- ・オランダ
- ・デンマーク
- ・ドイツ
- ・ベラルーシ
- ・スイス

アジア(18か国・地域)

- ・マカオ
- ・中国
- ・香港
- ・タイ
- ・フィリピン
- ・カンボジア
- ・シンガポール
- ・ミャンマー
- ・インド
- ・ベトナム
- ・台湾
- ・UAE
- ・インドネシア
- ・レバノン
- ・マレーシア
- ・イスラエル
- ・バーレーン
- ・カタール

オセアニア(3か国)

- ・オーストラリア
- ・ニュージーランド
- ・フィジー

北中米(3か国・地域)

- ・カナダ
- ・アメリカ
(ハワイ・サイパンを含む)
- ・メキシコ

● 展示会への出展

台湾やフィリピン、モスクワの展示会に出展
→ 海外へも当社名・当社製品の
認知向上を図る



IFEX Philippines 2015の様子(5月)

7. 「KENKO Five Code 2015-2017」～輝く未来のために～

.KENKO Five Code 2015-2017



Globalization
世界的拡大

- バンクーバーリサーチオフィスの開設
- ハラル認証商品の輸入
- 輸出事業の拡大、海外展示会への出展

Innovation
革新

- 新商品開発（「旅ドレ™」「ベジソー™」）
- WEB:進化型サラダ料理の発信
- サラダサイエンス寄附講座「サラダシンポジウム」開催

Best practice
最良実施

- 生産拠点増強計画
- 分野別・業態別対策

Knowledge management
知識管理

- 生産改革、TPM
- サラダ料理講習会
- WEB:季節のメニューや業態別メニューの発信

Communication
コミュニケーション
(ブランド育成)

- Salad Cafe (Shop&WEB)
- 商品ブランド育成（「和彩万菜®」「惣菜亭®」）
- 公式Twitterスタート
- メディア活用(ラジオ、テレビ、新聞等)

【トピックス】当社グループ総合フェア

. KENKO Five Code 2015-2017



●●●●● 当社グループ総合フェア ●●●●●

テーマ : Kenko Marché 2015 きらめきのタネ

東京会場 : 11月 5日(木)・ 6日(金)

大阪会場 : 11月17日(火)・18日(水)

来場者数 : 約2,500名(東京会場合計)

提案メニュー : 143メニュー





2016年3月期 業績予想

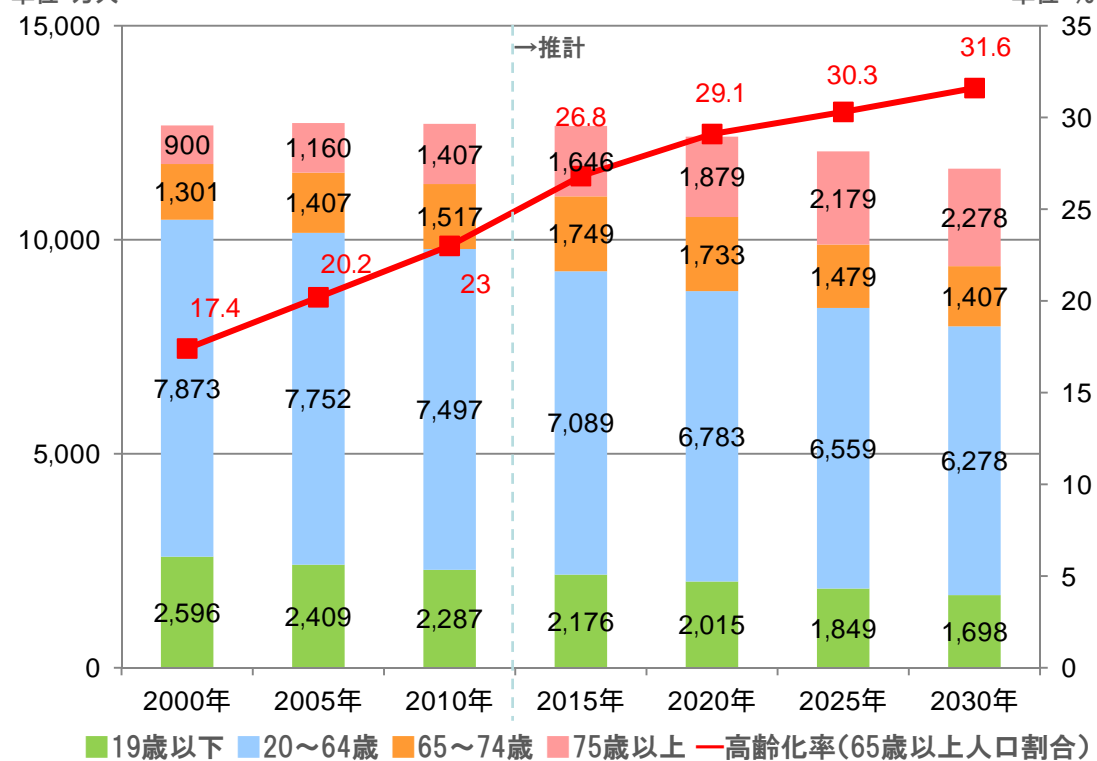
代表取締役社長 炭井 孝志

1. 業界を取り巻く環境①

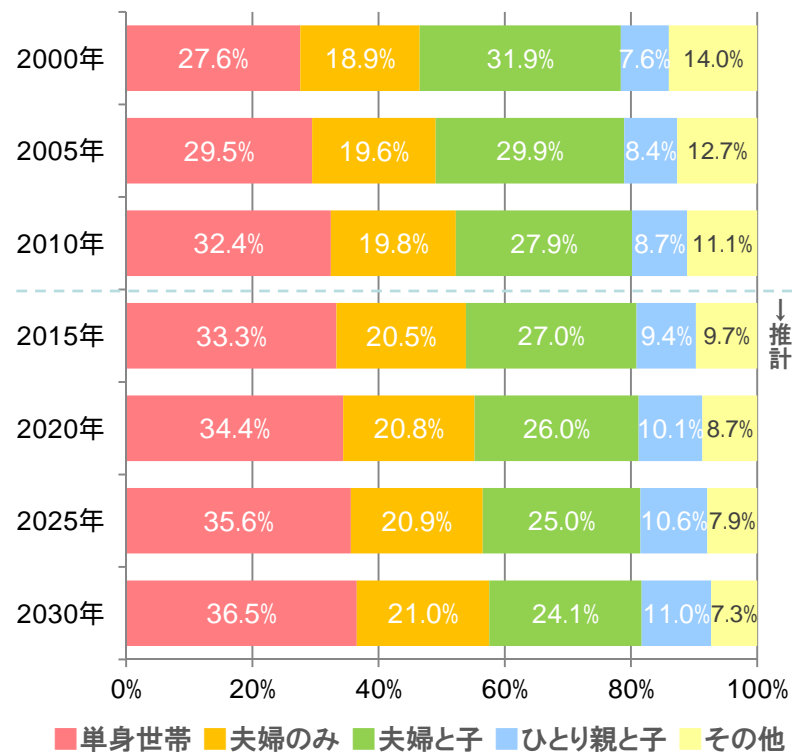
2016年3月期 業績予想



■ 高齢化の推移と将来推計



■ 家族形態別にみた世帯構造の推移



高齢者増加
▼
シニア市場の拡大

人口減少・
単身世帯・核家族化の進行
▼
「個食化」「簡便化」
家庭内調理の減少傾向 ▶ 中食需要↑

資料: 2010年まで総務省「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計)の出生中位・死亡中位仮定による推計結果「日本の世帯数の将来推計」、厚生労働省「国民生活基礎調査」

1. 業界を取り巻く環境②

2016年3月期 業績予想



2013年12月
ユネスコ無形文化遺産
『和食』
▼
国内外の和食ブーム

2020年
東京オリンピック・
パラリンピック開催
▼
外国人観光客↑

原材料・
エネルギーコスト
高騰
▼
左右されない環境作り

消費者志向

健康・ヘルシー 高付加価値 安全安心

▼

「サラダ」切り口の需要↑

市場の動きや消費(者)動向の変化を読みながら
商品開発や価格設定について柔軟な対応が必要

2. 2016年3月期 業績予想（連結）

2016年3月期 業績予想

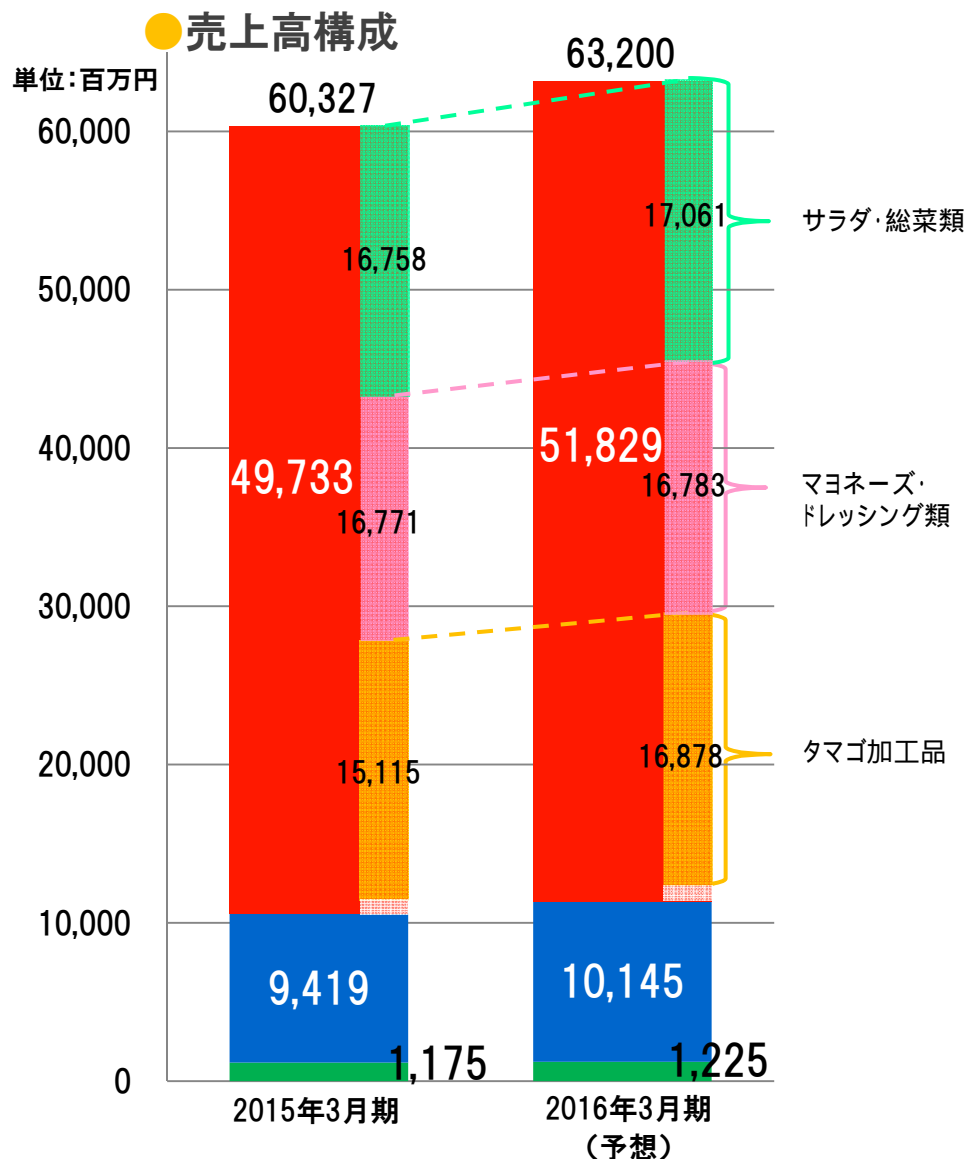


「KENKO Five Code 2015-2017」の個別戦略を確実に進め
 売上高は5期連続増収の**632**億円を、経常利益は過去最高益の**30**億円の確保を目指す

単位:百万円	2015年3月期 実績		2016年3月期 予想	
	金額	前期比	金額	前期比
売上高	60,327	5.3%	63,200	4.8%
売上総利益	15,718	6.4%	—	—
%	26.1%			
販売管理費	12,717	3.0%	—	—
営業利益	3,001	23.6%	3,050	1.6%
%	5.0%		4.8%	
経常利益	2,776	22.9%	3,000	8.0%
%	4.6%		4.7%	
税金等調整前当期純利益	2,793	26.1%	—	—
当期純利益	1,642	29.7%	1,770	7.8%
%	2.7%		2.8%	
1株当たり当期純利益	115円57銭		124円55銭	

3. 事業別売上高予想（連結）

2016年3月期 業績予想



ポイント

分野別・業態別対策の取り組みの強化

販路拡大および市場ニーズに沿った商品形態の拡充

たまご CVSから外食へも販路を拡大

サラダ 量販店・CVS向け小型形態商品の充実

商品ラインナップの強化

機能性商品の拡充、商品シリーズの強化

サラダ 世界のサラダシリーズ、和惣菜(和彩万菜®)フレッシュ総菜、カット野菜(北海道限定)

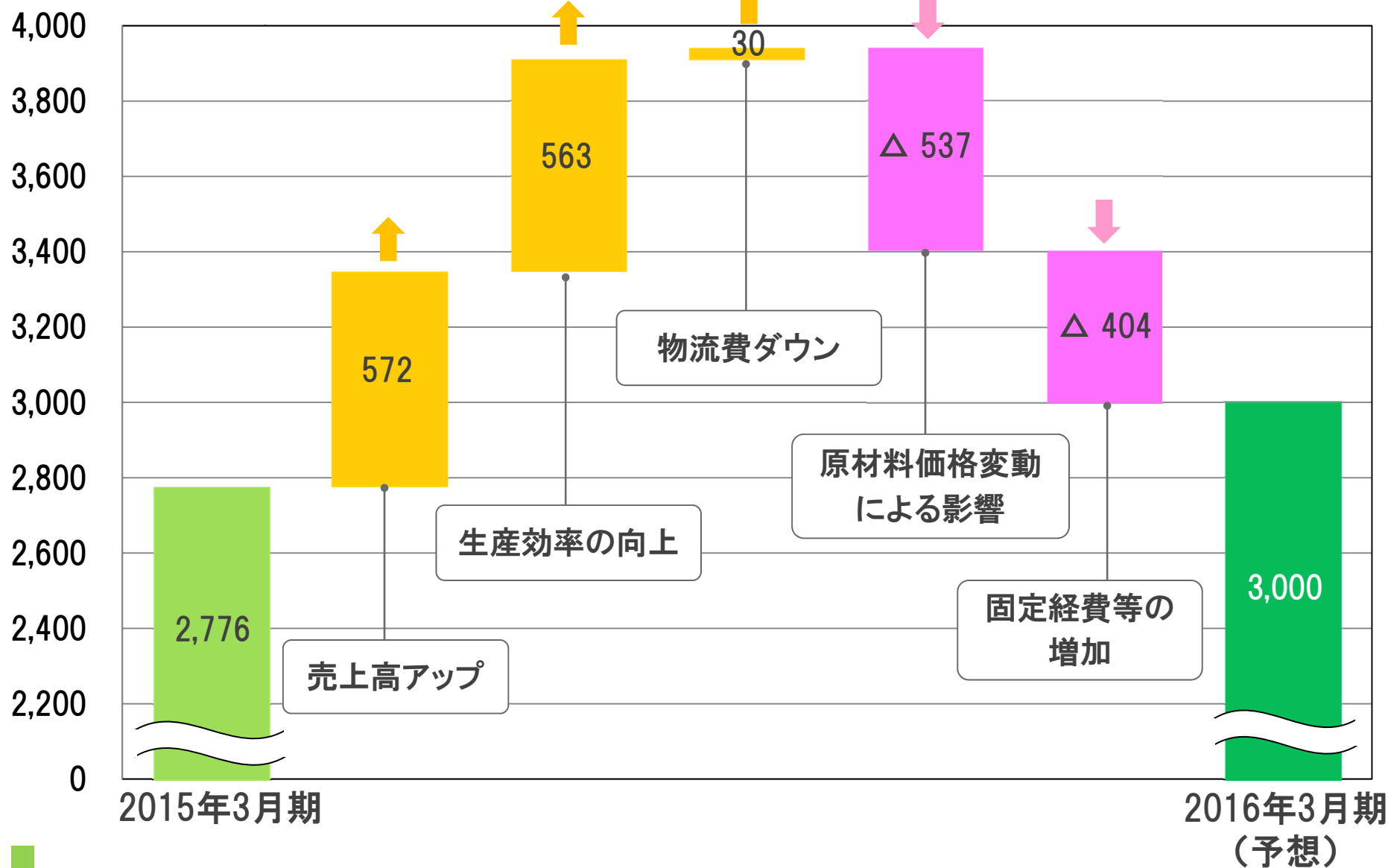
マヨネーズ・ドレッシング 世界のソースシリーズ、海外輸出用商品の強化

4. 2016年3月期 経常利益増減予想（連結）



2016年3月期 業績予想

単位：百万円



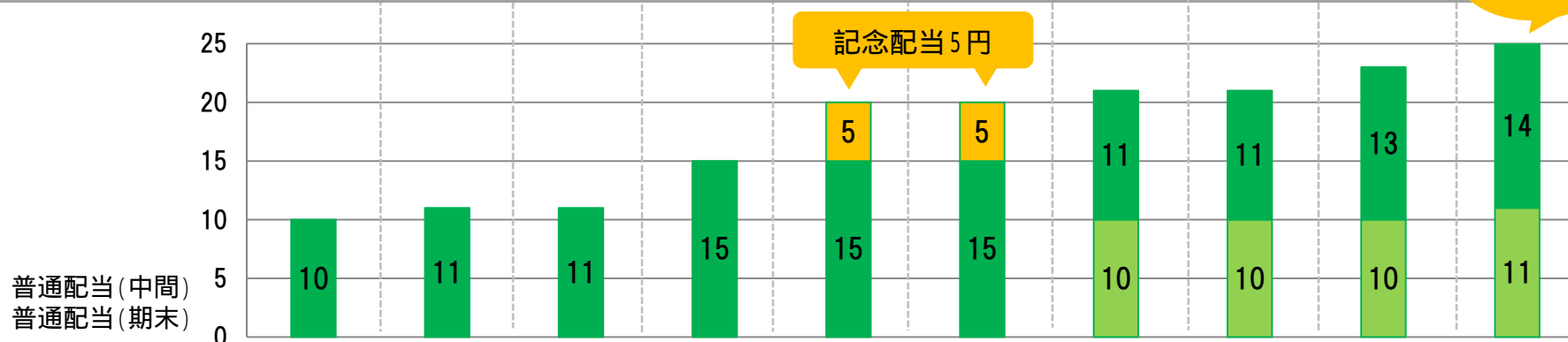
5. 配当政策・株主還元



2016年3月期 業績予想

連結ベースでの配当性向20%を意識をし、配当の継続性に配慮しつつ、
当社の今後の成長と発展にあわせ、安定配当水準を高めていく

	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期 (予想)
配当金(円/株)	10	11	11	15	20※3	20※4	21	21	23	25
配当性向(%)	6.5	19.0	47.1	13.4	19.3	27.6	21.2	23.6	19.9	20.1
配当利回り(%) (ご参考) ※1	0.9	2.6	3.0	2.5	3.6	3.2	2.3	2.3	1.4	—
純資産(株主資本)配当 率(%) (DOE) ※2	1.5	1.5	1.5	1.9	2.3	2.2	2.1	1.9	1.9	2円 増配予定



1 配当利回り = 1株あたりの配当金(合計) / 各年3月末日時点株価(終値) × 100

2 純資産(株主資本)配当率 = 1株あたり配当金(合計) / ((期首 + 期末 1株あたり連結純資産) ÷ 2) × 100

3 東京証券取引所市場第二部上場記念配当 5円を含む

4 東京証券取引所市場第一部上場記念配当 5円を含む

お問い合わせ



- IRお問い合わせ先

- 東京本社 : 東京都杉並区高井戸東3丁目8番13号
- 担当者 : 執行役員 広報室長 渡辺 亮彦
- 電話 : 03-5962-7787
- E-mail : ir@kenkomayo.co.jp

- 将来見通しに関する注意事項

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述は、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身の判断と責任においてご利用されることを前提に提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。